

## 第1学年\*組 技術・家庭科学習指導案

指導者 福田 雅美

### 1 題材名 食品の選び方を考えよう

#### 2 目標

日常で多く用いられている食品の品質を見分け、日常生活と関連付けながら、用途に応じた選択ができるようにする。

#### 3 指導にあたって

現代の食生活において、消費者として食品を選択・購入して成り立たせている家庭が多い。そのような中、将来にわたり心身ともに健康で豊かな食生活を送るためには、中学生の時期に用途や場面に合った食品を選択し、望ましい食習慣を身に付けることが必要である。現代は、生鮮食品から加工食品まで様々な食品が店頭に並び、簡単に手に入れることができるようになった。また、食品添加物や品質表示の偽造など、食にまつわる問題も多い。中学生は、食生活の基盤を作る大切な時期であり、食品の表示を見て適切に選択することは、健康な食生活を送る上でとても重要なことである。中学校学習指導要領では、「B食生活と自立」(2)ウで、日常多く用いられている食品の品質を外観や表示などから見分けることができるようになるとともに、日常生活と関連付け、用途に応じた選択ができるようにすることを目的としている。

生徒の実態から、食品の買い物をする生徒は多いことが分かる。また、食品を選ぶ場合には、気を付ける項目としては値段が最も多かった。生鮮食品の場合では、原産地や旬の時期を考えて購入し、加工食品の場合では、食べられる期限や製造者(国)、原材料名など、様々な表示を見て購入したりする傾向があることが分かった。レトルト食品などの加工食品を利用する生徒は全体の約\*割で、簡単でおいしいことを理由に挙げており、用途に応じて食品を選択することに課題がある。

生徒の実態調査(平成\*年\*月\*日実施、第1学年\*人)

設問	回答				
① 普段、食品の買い物をしていますか。	よくしている *人		時々している *人		
	ほとんどしない *人				
② 次の食品を買うとき、どのようなことに気を付けていますか。(複数回答)	ア 生鮮食品 値段 *人 におい *人 形 *人	色 *人 買う時期(旬) *人 気にしない *人	原産地 *人 量 *人		
	イ 加工食品 値段 *人 製造者(国) *人 原材料名 *人 食品添加物 *人	期限(食べられる期限) *人 内容量 *人 保存方法 *人 気にしない *人			
③ 即席めんやレトルト食品、調理済み食品などを利用することができますか。	よく利用する *人 時々利用する *人 ほとんど利用しない *人				
④ ③で“よく利用する”“時々利用する”理由は何ですか。(複数回答)	簡単だから *人 時間がないから *人 料理が苦手だから *人	おいしいから *人 手づくりが面倒だから *人 家の人の帰りが遅いから *人			

そこで、本題材では、生活上の様々な用途や場面において、食品を適切に選択する力を身に付けることをねらいとし、「家族のために昼食をつくろう～ミートソース編～」と題して、様々な角度から食品の選択を考えさせていく。ミートソースは、レトルト食品や調理済み食品、缶詰、瓶詰め食品など加工食品も多数出回っており、生徒にとって身近な食品と言える。加工食品に含まれる食品添加物の種類や使用目的、生鮮食品や加工食品の特徴、手づくり食品と加工食品の実習を通した比較調査、実生活の具体的な場面での食品の選択などを取り入れ、学習を進める。また、様々な食品の比較・検討の際には、環境との関わりも考えさせていきながら、生活の在り方を工夫し、実践できるようにする。これらの学習を通して、生活の課題に対して、様々な情報から用途や場面に合わせて主体的に考え判断し意思決定できるように、生活を工夫し創造する思考力・判断力・表現力を育みたいと考え、本題材を設定した。

#### 4 指導計画と評価計画

##### (1) 本題材における評価規準 〈指導内容B(2) ウ〉

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技術を身に付けています。	食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けています。

##### (2) 指導と評価の計画 (9時間扱い、本時は第8時)

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
1	○用途に応じた食品の選択の仕方を考える。 ・家族のための昼食づくりとしての「ミートソース」を基に、イメージマップづくりを通して、様々な角度から食品の選択を考える。	①自分や家族の食生活に関心をもち、よりよくしようとするための食品の選び方を考えようとしている。 ・イメージマップ ・行動観察			①生鮮食品と加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解している。 (鮮度・原材料・食品添加物・期限表示など) ・行動観察 ・学習カード
2	○身近な食品の特徴と品質の見分け方について知る。 ・生鮮食品の特徴を調べる。 ・加工食品の特徴を調べる。				②食品を選択する際の観点について理解している。 ・行動観察 ・学習カード
3	・食品の表示について調べる。 ・食品の様々な保存方法を調べる。				
4 5 6 7 8 本時	○手づくり食品と市販の加工食品の特徴や用途に応じた利用の仕方を理解する。 ・手づくり食品と加工食品の比較調査の計画を立てる。 ・ミートソースづくりを通して、手づくり食品と加工食品を比較する。 ・比較調査の結果をまとめ、家族のためのミートソースづくりとして、何を選択するのか、自分の考えをまとめまる。	①用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 ・行動観察 ・学習カード ・イメージマップ	①身近な食品を選択するためには必要な情報を収集・整理することができる。 ・行動観察 ・学習カード		

## (夏季休業 家庭での実践)

9	<p>○実践を基に、報告会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に行った実践レポートを基に、発表する。</li> <li>・発表から、自分の食生活に生かせることをまとめる。</li> </ul>		<p>②実践の成果と課題についてまとめ、発表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・実践レポート</li> <li>・学習カード</li> </ul>		
---	--	--	--	--	--

## 5 本時の指導

## (1) 目標

用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫することができる。

## (2) 準備・資料

食品、調理実習時の写真、ワークシート

## (3) 展開

学習活動	指導上の留意点・評価
1 本時の学習内容を確認する。 家族のための昼食をつくるとき、何を選択するか考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で行った「ミートソース」の手づくり食品と市販の加工食品の比較調査の振り返りや実物の食品、実習時の写真の提示により、本時への意欲付けをする。</li> </ul>
2 手づくり食品と加工食品の比較調査結果をまとめ、発表する。 (1) 前時までの調査結果から、それぞれ意見をまとめる。 (2) グループ内で意見交換をして、発表内容を考える。 (3) グループ毎に発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで調査結果を確認し、総合的にどの食品を選ぶのか、話し合いを進めるように指示する。</li> <li>・どの項目を重視して結果を出したのか、説明できるように意見をまとめる。</li> <li>・グループの代表者が発表し、その内容を板書することで、その後の自分の意見をまとめる際の参考にすることができるようになる。</li> <li>・各グループで、手づくり食品と加工食品の特徴について気付いたことや考えたことを発表することで、全体での共通理解を図る。</li> <li>・それぞれの食品の特徴から、自分が昼食をつくるときに何を選択するのか、どのような場面を想定して選択するのかを考え意見をまとめよう助言する。</li> <li>・食品の選択に当たっては、様々な条件を考えて選択することが大切であることを伝える。</li> </ul> <p>〈評〉 行動観察・学習カード (B) 用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 (A) 用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用し、多くの視点から考え、工夫している。</p>
3 手づくり食品と加工食品の特徴をまとめる。 (1) 手づくり食品と加工食品の特徴を考える。 (2) 家族のために昼食をつくるとすれば、何を選ぶのか、自分の意見をまとめる。	<p>(工夫・創造)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージマップを作成・比較することで、食品を選択する際の視点の振り返りをする。</li> <li>・次時は、夏季休業中に実践する「家族のために昼食をつくろう～ミートソース編～」の課題について計画を立てることを伝え、意欲付けをしたい。</li> </ul>
4 本時のまとめをする。 (1) 「ミートソース」についてのイメージマップづくりを行い、以前作成した物と比較し、感じたことをまとめる。 (2) 本時のまとめをし、次時の課題について確認する。	